

アートとテクノロジーでみる 江戸東京

表現し、表現されてきた都市、

シリコンバレー度は世界37位

■報告者

白石さや

法政大学江戸東京研究センター客員研究員・
東京大学名誉教授・岡崎女子大学教授

[報告の概要]

アートの面では、江戸東京は、多彩な物語や視覚的表象を生み出してきたし、自身についても多彩な物語や視覚的表象が生み出されてきた。他方、テクノロジーの面では、現代のイノベーションを担う協働生産体制としての「シリコンバレー度」では、東京は、世界の諸都市の中で37位に位置づけられている。東京のもつ文化の豊かさは、グローバル化するテクノロジーが生まれる条件にそぐわないのだろうか？

□司会

安孫子信

法政大学江戸東京研究センター研究プロジェクト・
リーダー／文学部教授

□開催日時

2018年7月27日（金）
18時30分から20時30分

□会場

法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー25階 B会議室
(所在地: 東京都千代田区富士見2-17-1)

□入場料

無料、事前予約不要

□問い合わせ先

法政大学江戸東京研究センター事務室
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3
九段校舎別館1F 国際日本学研究所内
Tel:03-3264-9682
E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

□詳細情報

<https://edotokyo.hosei.ac.jp/>